

三田市立図書館資料収集細則

平成2年4月1日実施
平成26年4月1日改訂
平成29年12月1日改訂

1. 一般書

1. 生涯学習社会の進展にともなう利用者各層の多様な資料要求に応えられるよう、各分野にわたって幅広く収集する。
2. 各分野別の選定規準は、次のとおりとする。

(1)0 類(総記)

- ア 情報科学については、技術革新が激しい分野のため、入門書、概説書を中心に最新のものを収集する。
- イ 図書館、図書、書誌学については広く収集する。
- ウ 百科事典はレファレンスに利用される頻度が高いため、記述内容や情報の正確性に定評のあるものを広く収集する。
- エ 年鑑・名鑑・白書等は、各主題に関する包括的なものを継続的に収集する。

(2)1 類(哲学・心理学・倫理学・宗教)

- ア 哲学書は、入門書、概説書、学説史および代表的な著作を中心に収集する。
- イ 心理学については、入門書、概説書を中心に収集する。
- ウ 心霊研究、易占いについては、類書が多いため、出来る限り科学的な立場から記述された解説書、概説書を収集する。
- エ 宗教については、宗教史のほか、代表的な宗派(教派・会派)の主要なものを偏りなく収集する。

(3)2 類(歴史・伝記・地理・紀行)

- ア 歴史については、通史、各時代史を併せ、歴史の移り変わりがわかるように、内容が史実に基づく基本図書を体系的に収集する。
- イ 歴史は、比較的よく利用される分野のため、一般向けに書かれた歴史読物から入門書、概説書、研究書まで多様なグレードのものを収集する。
- ウ 伝記については、内外の各分野における代表的人物の双伝・各伝を中心に収集する。
- エ 地理・地誌については、日本および諸外国の基本的なものを収集する。
- オ 地図は、最新で信用性の高いものを収集する。また、紀行・旅行記

は、古典的価値を有するものおよび著名作家等の作品を中心に収集する。

カ. 旅行案内は、最新で情報確度の高いものを収集する。

(4)3 類(社会科学)

ア 社会思想については、入門書、概説書のほか代表的または、主要な古典的著作を収集する。

イ 政治については、日本に関するものを中心とし、外国に関するものは主要なものに限り収集する。

ウ 法律については、日本に関するものを中心に収集する。包括的な法令全集を収集するとともに、日常生活の場で必要な法律解説書は実用的価値の高いものを収集する。

エ 経済・財政については、入門書、概説書のほか、代表的または、主要なものを収集する。

オ 統計については、基礎的な入門書、概説書を収集する。また、統計資料は、信用度に定評のあるものを継続的に収集する。

カ 社会科学については、入門書、概説書のほか、代表的な著作を収集する。また、社会保障、生活・労働・家庭・婦人・老人問題、社会福祉等社会的関心の高いものを収集する。

キ 教育については、基礎的な理論書、包括的な制度史、一般的な入門書、実践記録(体験報告等を含む)を中心とし、社会教育および家庭教育に関するものについても、社会的関心の高いものを中心に収集する。ただし、教師用の学習指導書、受験のための学習参考書および問題集は収集しない。

ク 民俗学については、入門書、概説書、基礎的な理論書を収集する。習俗、伝説、民話等については、日本各地のものを中心とし、外国の主要なものについても収集する。

ケ 国防・軍事については、基礎的なものおよび記録的なものを収集する。ただし、戦争を賛美する傾向のものは収集しない。

(5)4 類(自然科学)

ア 自然科学については、入門書、概説書および基礎的な理論書を中心に広く収集する。

イ 自然科学の各分野は、非常に細分化、専門化されているため、個別分野の高度な専門書は収集しない。グレードは大学一般教養課程程度のもを限度とする。

ウ 数学、物理学、化学、天文学、地球科学、生物科学、植物学および、動物学については、一般的に関心の高いものを中心に収集する。

エ 医学、薬学については、家庭医学、看護学の実用書、公衆衛生、栄養学の入門書、概説書を収集する。

(6)5 類(技術・工学)

ア 技術・工学については、入門書、概説書を中心とし、公害、建築、機械工学、通信工学および情報工学等一般的関心の高いものは、最新の実用書を含めて収集する。高度で専門的な工学書は収集しない。

イ 家庭科学については、最新のものを広く収集する。

ウ 婦人・主婦向けに実用的な価値の高い資料を積極的に収集する。

エ ファッションや料理などについては、流行や季節感に留意して収集する。

(7)6 類(産業)

ア 産業については、入門書、概説書を中心に収集する。ただし、園芸、動物飼育については、趣味的な実用書を含めて広く収集する。

イ 商業については、入門書、概説書を収集する。なお、商業経営、広告宣伝等については、基礎的な実用書を中心に収集する。

ウ 運輸・交通については、入門書、概説書のほか、鉄道等の趣味的な実用書も収集する。

エ 通信事業については、情報化社会の新しい動向について、わかりやすく書かれた資料を収集する。また、入門書、概説書のほか、郵便切手等の趣味的な実用書も収集する。

(8)7 類(芸術)

ア 美術については、鑑賞入門、実技指導書、基礎的な理論書のほか、美術全集など各分野のものを体系的に収集する。ただし、きわめて高価なものも多いため、必要度と価格のバランスを考慮して収集する。

イ 漫画については、社会の風俗・習慣などを反映した完成度の高い作品、漫画史上で評価の定まったものを収集する。

ウ 音楽については、基礎的な理論書、概説書、鑑賞入門・音楽家の伝記および実技指導書を収集する。

エ スポーツ、諸芸・娯楽については、各主題における入門書、概説書、基礎的な実技指導書、規則・記録のほか、伝統性の強い領域のものは古典も収集する。

オ 市民の興味・関心に留意し、新しい分野についての情報も迅速に提供できるように努める。また、利用の集中する分野には必要な量の資料を用意する。

(9)8 類(言語)

ア 市民の教養、学習、実用に役立つ資料を収集する。

イ 日本語については、入門書、概説書のほか、定評のある辞典は包括的に収集する。

ウ 外国語については、主要な言語の入門書、概説書を中心に収集する。

(10)9 類(文学)

ア 市民の関心が最も高く、また、最も利用の多い分野のため、各分野について豊富な資料を収集する。

イ 文学理論・文学史については、入門書、概説書を中心に収集する。

ウ 日本文学については、代表的作品の包括的作品集、文学史上著名な作家の個人作品集、および古典的作品は広く収集する。また、現代作家の作品については、代表作品、社会的関心の高い作品を中心に広く収集する。

エ 外国文学については、古典的作品、現代作家の代表作品および社会的関心の高い作品を中心に収集する。

オ 著名な受賞作品や受賞作家の作品及び話題になっている作品については、網羅的な収集に努める。

2. 児童書

1. 幼児・児童が読書の楽しみを発見し、読書習慣の形成と継続に役立つよう、また、幼児・児童の発達段階に応じた興味、関心に対応できるよう、各分野にわたって、幅広く収集する。
2. 各分野の評価の定まった資料は、網羅的な収集に努める。
3. 各分野別の選定基準は次の通りとする。

(1)0 類(総記)

ア 児童の宿題や自由研究に応えられるよう、百科事典を中心に調査研究のための資料を収集する。百科事典および年鑑は、正確な知識と最新の情報が盛り込まれており、児童にとって使いやすく教科單元にも配慮したものを収集する。

(2)1 類(哲学・心理学・倫理学・宗教)

ア 児童にとって理解しにくい分野のため、できるだけ分かり易く書かれたものを収集する。

イ 心霊、易占いについては、興味本位でなく、出来るだけ科学的な立場から書かれたものを収集する。

(3)2 類(歴史・伝記・地理)

ア 社会科の学習との関連に留意して収集する。

- イ 図版、イラスト、写真等を用いたビジュアルな資料を収集する。
- ウ 歴史は、日本の通史・各時代史、および諸外国の主要なものを収集する。
- エ 伝記は、各時代の代表的人物について、歴史的、社会的背景のなかで適切に描かれているものを収集する。
- オ 地理は日本各地および諸外国に関するものを広く収集する。
- カ 日本各地の特色ある産業や伝統工芸に関する資料を収集する。
- キ 修学旅行に役立つ旅行案内書等も収集する。
- ク 地図は冊子形態のものを収集し、一枚物は収集しない。

(4)3 類(政治・法律・経済・社会・教育・民俗等)

- ア 社会科の学習との関連に留意して収集する。
- イ 社会の仕組み、人間関係、民俗、職業等について正確な知識や情報が盛り込まれているものを収集する。
- ウ 戦争を扱ったものについては、戦争・兵器等を賛美する傾向のものは収集しない。

(5)4 類(数学・物理学・化学・天文学・地球科学・生物学・医学)

- ア 児童に科学的な物の見方、考え方を培う資料を基本に、新しい内容のものを体系的に収集する。
- イ 児童が、自然に対して興味や関心を深め、自然とのふれあいの手引となるような資料を収集する。
- ウ 実験や観察の本は、結果だけでなく過程や考え方を重視しているもの、児童の理解力や安全性に配慮しているものを収集する。
- エ 幼児、低学年向きの科学絵本も収集する。
- オ 性に関する本については、社会的、医学的に正しい知識に基づいて記述されたものを収集する。

(6)5 類(工学・工業・家政学)

- ア 科学技術とその応用について分かり易く書かれたものを収集する。
- イ 自動車その他、児童の関心の高いものについては、趣味的なものを含めて収集する。
- ウ 社会科、理科、生活科の学習との関連に留意しながら収集する。
- エ 工作や理科、手芸等の分野は、児童が理解できるよう分かり易く書かれたものを収集する。

(7)6 類(農業・林業・水産業・製造業)

- ア 社会科の学習との関連に留意して、各産業について基本的な知識が得られるよう、広く収集する。
- イ ペットの飼い方や草花の栽培等の実用的なものも収集する。

(8)7 類(彫刻・絵画・工芸・音楽・スポーツ等)

- ア 児童の興味、関心に留意し、かつ娯楽性、実用性の高いものを幅広く収集する。
- イ 芸術は、基礎的な鑑賞入門および実技指導書を中心に収集する。
- ウ スポーツは、保健体育科の学習との関連性に留意しながら、基礎的な実技入門書、指導書、規則記録等について正確さや安全性に留意して収集する。
- エ 伝承遊びの本については、日本各地や世界各国に伝わるものを収集する。

(9)8 類(言語)

- ア 国語科の学習との関連性に留意して、かつ言語の大切さを教え、言葉に対する興味や関心と呼び起こすものを収集する。
- イ 辞書は正確さや使いやすさに定評のあるものを収集する。
- ウ 外国語の学習資料は、学習指導要綱に沿った資料を収集する。

(10)9 類(文学)

- ア 文学は、児童の発達過程に応じ、適切な挿絵や文章表現に配慮された作品を収集する。
- イ 主要な文学賞の受賞作品や、評価の定まっている作家の作品は、網羅的な収集に努める。
- ウ 幼年文学は、低学年児童の発想や心情をよく理解した、楽しい作品を収集する。
- エ 児童文学については、物語の独創性や登場人物の個性等により、豊かな想像力をかきたてる作品を収集する。
- オ 古典文学や外国文学は、原典の文体、物語、時代背景など作品的価値をそこなわず、読みやすく再話、または、翻訳された作品を収集する。
- カ 伝承文学については、語りの様式をそなえた作品を収集する。
- キ 記録文学については、正確な知識や経験に基づいて記述され、主題が児童によく理解できる作品を収集する。
- ク 詩については、よく選ばれた言葉で綴られ、児童の感性に訴えかける作品を収集する。

(11)絵本

- ア 幼児や低学年児童の知的、情緒的経験を広げ、豊かな想像力を養う作品を選び、粗悪なアニメ絵本等は収集しない。
- イ 主要な絵本賞の受賞作品や評価の定まっている作品は、網羅的な収集に努める。

ウ 評価の定まっている絵本作家の作品は、網羅的な収集に努める。

エ 選定にあたっては、次の点に留意する。

○絵がストーリーを語っていること

○絵が生き生きと描かれており、見るものを想像の世界に誘い込む力をもっているもの

○ストーリーが幼児に相応しいものであること

(12)紙芝居

ア 評価の定まった作品は、網羅的な収集に努める。

イ 評価の定まっている作家の作品は出来るだけ網羅的な収集に努める。

ウ 選定にあたっては次の点に留意する。

○絵と文が一体となって作品を構成していること

○幼児の想像の世界を広げられるもの

○「抜く」という紙芝居の特性を十分生かしたもの

(13)漫画

ア 漫画という表現手段によってしか、味わい得ない独自の世界が描かれかつ、内容が健全でストーリーや主題が児童に適したものを収集する。

イ 学習漫画については、人物・事物等の絵やストーリーが歴史的事実等に関して、専門家の十分な考証がされている作品を収集する。

3. ヤング・アダルト図書

1. ヤング・アダルトコーナーは、これまで図書館の「学習室」の利用対象としてしか考えられていなかった青少年のために、資料や情報を用意して、図書館への親しみを持たせ、読書の豊かな世界を紹介する場としての働きを持たせる。
2. 中・高校生の興味、関心に留意して、教養、趣味、生活等に役立つものを幅広く収集する。また、ビジュアルな表現を用いた資料に留意して収集する。
3. 「青春の書」として、いつの時代においても、その時々の青少年に深い感銘を与え読み継がれてきた本、現代社会の中で生きる青少年の心理や彼らを取り巻く社会問題等を捉えた優れた作品を収集する。
4. 選定にあたっては「児童書」に準じる。
5. ライトノベルに関しては、受賞作など評価の定まっている作品を収集する。

4. 外国語資料

1. 多文化サービスの一環として、在住外国人への図書館サービスの充実を図るため、外国語で表現された資料を収集する。
2. 在住外国人の興味・関心に留意し、教養・趣味・生活等に役立つ資料を収集する。
3. 資料別の収集は以下の方針で行う。

(1) 図書

- ア 絵本は、評価の定まったもので、日本で翻訳出版されているものの原著(主に、英語表記のもの)を収集する。
 - イ 児童書は、文学の分野を中心に、古典や評価の定まった作品で、日本で翻訳出版されているものの原著(主に、英語表記のもの)を収集する。
 - ウ 一般書は、以下の点に留意して収集する。
 - 日本の地理・歴史・文化等、外国人に日本を紹介した資料
 - 日本での日常生活に役立つ資料
 - 日本語学習に役立つ資料
 - 日本の文学作品の外国語訳書(主に、英語表記のもの)
 - 外国の現代小説(主に、英語表記のもの)
4. 在日朝鮮・韓国人や在日中国人に対しては、日本語資料によって、民族のアイデンティティを確立するのに役立つ資料(民族の歴史・文化関連書等)を収集する。

5. 地域資料

1. 三田市の事物・人物・現象に関する資料、三田市内で刊行された資料は、資料形態の如何を問わず網羅的に収集する。
2. 収集に当たっては、特に、以下の資料に重点をおいて収集する。
 - (1)三田市内で起きた歴史上の事件、および三田市の歴史的事情に関する資料
 - (2)三田市内にある行政機関、学校等が編集・発行する資料
(ただし、大学、研究機関が編集・発行する研究論文等の資料のうち、内容が三田市の事物・人物・現象を扱っていないものは地域資料としない)
 - (3)三田市内に本社・本部を有する会社、団体等が編集・発行する資料
(ただし、内容がその活動に関係なく、一般的なものは地域資料としない)
 - (4)三田市内に本社・本部を有する会社、団体等に関する資料

(ただし、市外の支社・支部に関する資料は地域資料としない)

また、市外に本社・本部を有する会社、団体等に関する資料のうち、内容が三田市に関するもの、および三田市内にある支社・支部に関するものは地域資料とする。

(5)三田市に関わりのある人物に関する資料

(ただし、三田市に関わりのある人物による著作であっても、内容が三田市の事物・人物・現象を取り扱っていないものは地域資料としない)

(6)文学作品の場合は、内容が三田市の事物・人物・現象を取り扱ったものでも地域資料としない。

(7)資料全体の半分以上が三田市の事物・人物・現象に関して記述されているものは地域資料とする。

(8)全集・講座等の多巻物の一部に地域資料に該当する巻がある場合、当該資料のみ地域資料とする。

(9)兵庫県および県内市町に関する資料は、基本的資料、歴史的資料を中心に収集する。特に、三田市の事物・人物・現象に関して記述されているものは積極的に収集する。

6. 新聞

1. 主要な日刊紙を中心に各種の新聞を収集する。

2. 収集にあたっては次の点に留意する。

(1)全国一般紙

(2)地域のローカル紙

(3)産業・経済紙

(4)スポーツ紙

(5)英字新聞

(6)自治体広報

(7)小・中学生向き新聞

*地域ミニコミ紙、市内各種団体の機関紙、広報紙は地域資料として扱い、調査相談室に配架する。

7. 雑誌

1. 雑誌は最新の情報が得られる資料として、市民の文化、教養、趣味などに

役立つものを幅広く収集する。

2. 児童、ヤングアダルトの興味、関心にも留意して収集する。
3. 各分野の基本的な雑誌を中心に幅広く収集する。